

総合戦略政策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる
基本的方向	<p>大きな雇用を産む産業や、著名な観光地を持たないこの町の最大の財産は人であり、人と人との繋がりにあることを再確認し、そこから生まれる、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを、二宮町総合戦略の第1の基本目標とします。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するためには、出生率の向上と子育て家庭の定住促進が不可欠となりますが、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域とは、子育てがしやすい地域であるとともに、誰もが健康でいきいきと生活することができ、安心して住み続けられる地域であることも必要になります。</p> <p>この二宮町総合戦略を機に、改めて地域コミュニティを見直し、子どもも大人も、誰もがいつでも気軽に地域との繋がりを保持するような取り組みや、多世代の交流を促進するとともに、町民生活を支える公共施設のマネジメント、防災・防犯のまちづくりを推進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
住み続けたいと思う町民の割合	76.50%				上昇	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる」を達成するために設定した4つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>人口減少や少子高齢化の進展に伴い、コミュニティ基盤の弱体化や地域での交流の希薄化に拍車がかかっている現状を打破し、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域を実現するためには、行政のみならず、地域の中にある潜在的な力を掘り起し、その力を引き上げ、相互に連携する仕組みを構築することが必要である。今後は、これまで以上に、地域や関係機関等との連携を強化し、協議・検討を重ねながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。</p> <p>高齢化、核家族化等により、人々はさまざまな課題を抱え、行政による支援は欠かすことができない。しかし、持続可能な財政運営の視点から考えると、行政主導の支援だけではなく、地域の潜在的な力を活性化することで、地域の課題解決を図る必要がある。</p> <p>そのため、行政は、広域的な視点を持って、町の中の公共施設をどうしていくかというハード面からのアプローチと、二宮の強みである「人」に主眼を置き、個人が持つ知識や経験を生かし、それぞれが能力を発揮するためにどうしていくのかというソフト面からのアプローチにより、住民レベルでの主体的・自立的な取り組みを支援する必要がある。また、取り組みの評価には、他市町と比較することで、二宮町の強みや課題が見えることから、目標への達成度合いだけでなく、訴求対象を明確にした上で、数字の比較をすることも不可欠である。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性	<p>基本目標「安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる」については、外部評価においても一定の評価を得たが、目標達成に向け、これまでの取り組みをベースに、さらなる施策の展開を図る。</p> <p>地域課題が多様化する中、行政サービスのみで全ての課題を解決しようとする従来の行政主導型から、地域の潜在的な力を活かした自立自助型への転換を図り、町民をはじめとした多様な主体が、地域の中で各々の役割を果たし、さらには相互の活動連携を推進する必要がある。</p> <p>そこで、町は、誰もがいつでも気軽に地域の活動に参加できる環境を整え、町のさまざまな分野を担う町民団体等による活動を支援するとともに、町民にとって分かりやすい行政にするために、町の情報、相談機能・支援体制の充実・強化に努める。同時に、地域のまちづくりを進める上での重要な資源である公共施設について、広域的な視野を持ちながら、どのようなあり方が最善であるかを検討した上で、再配置や統廃合など適正な配置と維持管理を推進していく。</p> <p>こうした取り組みを推進することで、町民一人ひとりの地域への意識や愛着を醸成するとともに、安心な暮らしの基盤である地域コミュニティを活性化することで、数値目標である「住み続けたいと思う町民の割合」を上昇させ、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。</p>
-----	---